

知識を“広める”

(予算額 1,762万円)

～いのちと健康を守る講習普及～

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という、赤十字の使命に基づき、様々な講習を展開しています。お問い合わせ・お申込みは、奈良県支部までご連絡ください。

救急法講習

心肺蘇生やAED使用の基礎知識、急病・骨折やけがの応急手当などについて学べます。



救急法基礎講習

幼児安全法講習

子どもに起こりやすい事故の予防と、体の小さい子どもへの一次救命処置などについて学べます。



幼児安全法支援員養成講習

水上安全法講習



水上安全法救助員I養成講習

水の事故からいのちを守るため、泳ぎの基本と事故防止、溺れた人の救助方法などについて学べます。

健康生活支援講習



健康生活支援講習支援員養成講習

誰もが迎える高齢期を健やかに過ごすために必要な、健康増進の知識や高齢者の自立に向けた生活の仕方や工夫を学べます。

防災講習

・防災セミナー

地域コミュニティでの「自助」「共助」の力を高め、災害からのいのちを守り、身の安全を確保するため、普段から準備すべきことを学べます。



防災セミナー

・防災啓発プログラム

被災した際に、避難所での生活支援の方法や防災・減災のための対応など、知りたいプログラムを選択して学べます。



防災講習

避難生活支援講習



避難生活支援講習

避難生活に焦点を当て、要配慮者(特に高齢者、乳幼児)に対して、家族・地域の方々が支援できること、また、ボランティア活動をするときに役立つ知識・技術を学べます。

講習会実施までの流れ

- 講習会を計画する
- 電話による相談(講習希望日の2か月前までに)、救急法等申込書の提出
- 講師派遣の回答(申込書提出後10日以内に連絡します)
- 講習派遣依頼文書を市町村担当窓口へ提出
- 講習資料などを電話で打合せ
- 講習会実施

その他、修了証が交付される講習会も随時実施しております！実施日については、ホームページに記載しておりますのでご確認ください。



講習会の詳細はこちら



赤十字活動資金にご協力をお願いします

ご協力方法

●以下の口座へ直接お振込

金融機関	口座番号	加入者名
郵便局	00950-9-105293	日本赤十字社奈良県支部
JAならけん	普通預金№0009950	
南都銀行南支店	普通預金№0442508	

※ JAならけん・南都銀行からお振込の場合は、奈良県支部へご連絡ください。振込用紙を送付いたします。また、通信欄には「活動資金」とご記入ください。

※ 南都銀行アプリを使用して、南都銀行南支店の口座番号への送金も振込手数料無料でご寄付いただけます。

●クレジットカードからの寄付

★赤十字の寄付申込フォームから★

右記の「寄付申し込みフォーム」からクレジットカードでご寄付いただけます。毎月や年1回の継続寄付も選択できます。

★Amazon Pay、Yahoo!ネット募金から★

Amazon会員や Yahoo!IDに登録済のカード情報を使ってのご寄付が可能です。



●自治会・町内会を通じてのご寄付

●奈良県支部の窓口でのご寄付

●口座振替で

ご指定の口座から自動引き落としでご寄付いただくことが可能です。
※ 申込書はご自身で印刷いただくか、奈良県支部へお電話いただくと後日郵送いたします。



●その他

★コンビニ★
コンビニエンスストアにある情報端末(ローソン：Loppi、ファミリーマート：マルチコピー機)から簡単にご寄付いただけます。

★スマホアプリ★
J-Coin Pay「ぼちっと募金」からご寄付いただけます。

●遺贈によるご寄付や相続財産のご寄付

※ 詳しいパンフレットをご希望の方は、奈良県支部までご連絡ください。

※日本赤十字社への協力は、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは、奈良県支部へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

表彰制度について

●日本赤十字社の表彰

項目	表彰基準
支部長表彰状 支部長感謝状	活動資金として、一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人
銀色有功章	活動資金として、一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人
金色有功章	活動資金として、一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人
日本赤十字社感謝状	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円以上を納められた個人・法人

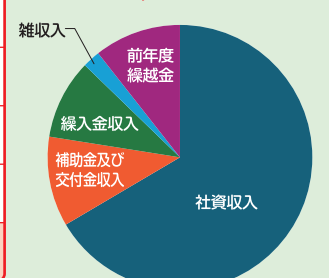
●国の表彰

項目	表彰基準
厚生労働大臣感謝状	活動資金として、一時または同一年度内に累計で100万円以上を納められた個人・300万円以上を納められた法人
紺綬褒章	活動資金として、一時または分納の累計で、500万円以上を納められた個人・1,000万円以上を納められた法人

令和8年度 日本赤十字社奈良県支部 予算

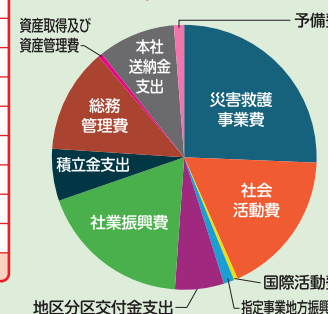
(千円)	
社資収入	157,000
補助金及び交付金収入	25,912
繰入金収入	23,000
雑収入	5,088
前年度繰越金	25,000
合計	236,000

令和8年度歳入予算 236,000千円



(千円)	
災害救護事業費	60,530
社会活動費(講習・ボランティア活動・献血活動等)	41,890
国際活動費	1,100
指定事業地方振興費	3,000
地区区分交付金支出	14,110
社業振興費	43,850
積立金支出	15,000
総務管理費	30,010
資産取得及び資産管理費	1,160
本社送納金支出	22,350
予備費	3,000
合計	236,000

令和8年度歳出予算 236,000千円



あたたかいご支援 よろしくお願いたします。



令和8年度

日赤なら

知ってほしい。
いのちを守る赤十字活動



ボラン
医療

平素より赤十字活動に格別のご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。日本赤十字社では災害発生時には救護活動や被災者支援を当然の責務として行っておりますが、本誌では日頃から奈良県支部が取り組んでいる身近な活動をご紹介します。

情報発信中

日本赤十字社 奈良県支部
Japanese Red Cross Society

〒630-8133
奈良市大安寺1丁目23番2号
TEL: 0742-61-5666
FAX: 0742-61-5756
<https://www.jrc.or.jp/chapter/nara/>



Instagram



日本赤十字社は
令和9年5月
創立150周年を迎えます

災害に“備える”

(予算額 6,254万円)



～いざという時のための災害救護活動～

地震・大雨などの自然災害に一刻も早く対応ができるよう、奈良県内の医療機関と覚書を結び、救護班を編成しています。また、いざというときに備え、職員の訓練や救護資機材の整備もおこなっています。

人の備え

①第4ブロック(近畿)合同災害救護訓練

日赤救護班やボランティアなどが参加し、連携強化や知識向上を図ります。令和8年度は、京都府で実施予定です。



第4ブロック(近畿)合同災害救護訓練

②奈良県防災総合訓練

奈良県主催の防災訓練に、日赤救護班と防災ボランティアが参加し、関係機関の連携強化と技術の向上を目指します。



奈良県防災総合訓練

■ 救護班を編成していただいている医療機関

奈良県 総合医療センター	奈良県 西和医療センター	南奈良 総合医療センター
市立奈良病院	大和高田市立病院	奈良県立医科大学 附属病院

救護物資



移動炊飯器



蘇生法教育人形(幼児)

物の備え

大規模災害に備え、災害救護活動に必要な資機材の整備をおこなっています。

★令和8年度の主な整備計画★

※地区区分とは、各市町村のことで

- 自転車(地区区分配備)
- 移動炊飯器
- 投光器(地区区分配備)
- 救護物資(布団)
- 浄水器(地区区分配備)
- 蘇生法教育人形(幼児)

世界と“つながる”

(予算額 110万円)



～国際活動～

世界 191 の国と地域で組織されている赤十字は、国際赤十字と連携を図り、紛争、災害、貧困などで苦しむ人々を支援しています。

奈良県支部では今年度から、ジブチ共和国を対象に気候変動対応支援として資金援助をおこないます。また、海外での大規模災害や紛争等に対して救援金の募集をおこない、毎年12月には「NHK海外たすけあい」キャンペーンとして、県内各地で街頭募金活動をおこなうなど、世界各地への支援をおこなっています。



ジブチの様子

赤十字活動を“育てる”

(予算額 2,526万円)

～ボランティアの育成と活動促進～

赤十字ボランティア

★各ボランティアメンバー募集中★

災害救護や献血の推進、講習会の普及や赤十字事業の推進をはじめ、地域社会のニーズに応じた幅広い活動に積極的に参加・協力しています。

※ボランティアの募集はこちら▶



■ 地域赤十字奉仕団

市町村ごとに組織され、県内で2,193名の方が地域奉仕団として身近なニーズや課題に取り組んでいます。奈良県支部では、奉仕団としての知識や技術向上のために研修を行うほか、ふれあいサロンや高齢者等の見守り、奉仕団の広報活動や役員募集など、活動の一助となる助成金を交付し、活動を支援しています。



炊き出し訓練



防災紙芝居



リーダー研修会



街頭募金活動

■ 安全法指導赤十字奉仕団

赤十字救急法等の指導者で組織され、健康で安全に暮らすための知識や技術向上の講習を普及しています。



救急法等の指導



総会の様子

■ 青年赤十字奉仕団

勤労青年や大学生で組織され、献血の呼びかけや青少年赤十字のサポートなどをおこなっています。



街頭募金活動



第4ブロックリーダー研修会

■ 無線・救護赤十字奉仕団

無線技士の資格を活かし、災害時の情報収集や伝達を担うため、通信訓練や救護活動をおこなっています。



イベントでの無線実演



訓練での無線設置

■ 看護赤十字奉仕団

看護師資格を持つメンバーで組織され、県内で開催される行事やイベントなど公共性の高い行事の臨時救護活動をおこなっています。



研修会



奈良マラソン救護

■ 青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字の指導者であった教職員で組織され、青少年赤十字のサポートをしています。



赤十字フェスタ



リーダーシップ・トレーニング・センター

■ 防災ボランティア

奈良県支部が行う救護活動や被災者支援のための活動をおこなっています。



救護訓練



救護活動支援

～未来につなぐ青少年赤十字活動～

青少年赤十字は、幼稚園、保育所、小・中・高等学校などで先生方が指導者となり、「気づき・考え・実行する」という生きる力を養い、豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組んでいます。奈良県内では、現在142校・合計約3.6万人が青少年赤十字に加盟しています。



加盟校募集中!

主な活動

■ 青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター

夏休みに、集団生活を通じてリーダーとして必要なスキルや生活態度を学びます。(令和7年度:奈良市青少年野外活動センターにて実施)



リーダーシップ・トレーニング・センター集合写真

■ 親子で学ぶぼうさい教室

夏休みに、ラップやビニール袋等の身近なものを使った応急手当、毛布ダウン、無線機体験など、非常時に使える知識を親子で学ぶことができる教室を開催します。



親子で学ぶぼうさい教室

～災害救護看護師の養成～

看護に関する幅広い能力と災害救護の専門知識を兼ね備えた看護師を養成するため、京都第二赤十字看護専門学校に委託しています。赤十字看護学生には奨学金制度を設けています。



～献血活動～

血液センターでは、県内各地で献血をお願いし、24時間体制で安全な血液を安定的に医療機関へお届けしています。

また、献血セミナーや学校献血に取り組み、将来の献血を支える若年層への啓発に力を入れています。



愛の血液助け合い運動

採血基準

種類	全血献血		成分献血	
	400mL	200mL	血小板	血漿
1回の献血量	400mL	200mL	600mL以下 (循環血液量の12%以内)	
年齢*	男性17歳～69歳	16歳～69歳	男性18歳～69歳	18歳～69歳
	女性18歳～69歳		女性18歳～54歳	
体重	男女とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	

*65歳以上の方の献血は、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

献血場所

●奈良県赤十字血液センター
大和郡山市筒井町600-1
TEL.0743-56-6100
献血予約専用フリーダイヤル
☎0120-566-245



●近鉄奈良駅ビル献血ルーム
奈良市東向中町28(奈良近鉄ビル6階)
TEL.0742-22-2122
献血予約専用フリーダイヤル
☎0120-397-722